

各連盟 審判部長各位

関東連盟 支部審判部長各位

日本リトルシニア中学硬式野球協会
規則・審判部会長 那須野 勉

リトルシニア 大会規程細則・野球用具の使用規程等の改定について

先般開催されました日本リトルシニア中学硬式野球協会の常務会において、大会規程細則・野球用具の使用規程等における下記の改定内容が承認されました。

つきましては、2017年より全国大会において適用いたしますので、各連盟の審判員へ周知ご徹底いただきますよう、お願い申しあげます。

1. コールドゲーム「4回終了時10点差」の採用

各試合は、7回戦とし5回終了をもって正式試合とし、4回終了時10点差、5回終了時以降7点差の場合は、コールドゲームとする。ただし、決勝戦はコールドゲームを適用しない。

2. ウエイティングサークル内の姿勢

次打者もしくは正規の代打者は、自軍のウェイティングサークル内で待ち、投手が投球動作に入ったら、自身の安全のため素振りをやめ、投球、打球をしっかり見守る。また、守備を妨害するような行為をとってはならない。

3. リストバンド、リストガードの使用認可

リストバンド、リストガード等に関して

- ①リストバンド、リストガードや保護ガードの使用を認める。
- ②色は黒、白、紺もしくは赤色をベースに2色までのものとする。

4. 延長戦の廃止（決勝戦を除く）

7回終了時同点の場合、2時間以内であっても延長戦は行わず、タイブレーク方式に入る。

タイブレーク方式は、一死満塁で打者は前回正規に打撃を完了した次の打順の打者とする。

（中略）

なお、決勝戦には2時間制限を適用せず、延長9回終了時なお同点の場合は、10回からタイブレーク方式に入り勝敗が決着するまで行う。

5. 投手に関する12秒及び、20秒ルールの適用

投手は、ボールを受けた後、走者がいない場合は12秒以内に、走者がいる場合は20秒以内に投球しなければならない。

なお、違反した場合のペナルティ等、ルールの適用に関するガイドラインは、別途通達します。